

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	岩田 誠
内山真一郎	臺 弘
大友 英一	梶 龍兒
金澤 一郎	高坂 新一
酒田 英夫	作田 学
島津 浩	杉田 秀夫
高倉 公朋	塚田 裕三
辻 省次	寺本 明
中里 洋一	中込 忠好
中野 今治	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 將	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

2012 年最後の号のあとがきを、本年のご報告とともに書きたいと思います。

今年はレヴィ小体発見 100 年、ウィルソン病発見 100 年でもあり、2 回の鼎談を企画し、掲載いたしました。それぞれまず資料を収集することから始め、お話しいただける先生方にお送りしました。お送りした資料は膨大で、独語論文などもありましたが、どの先生もそれらを丁寧にきちんとチェックしてくださり、会話は充実したものになりました。鼎談が終了したときが、編集側の重労働の開始でした。会話を文章にすることに加え、読者にさらに興味を持ってもらえるよう大量の脚注をつけましたが、これがある以上大変な作業でした。注をつけるべき項目の選択、注釈の正確性を確保しながら魅力的な脚注内容を作成するには大変な時間を要しましたが、当教室 K 君が積極的に、この作業の中心的役割を担ってくれ、何とか出版の遅れを避けることができました。このような会話形式には、異論もあると思います。編集室宛にご意見をいただければ幸いです。

ところで『The Border-Land of Epilepsy』はガワーズの最後の著作で、1907 年に出版されました。大著ではありませんが、臨床神経学者ガワーズの臨床経験が十二分に発揮された、現在でも役に立つ名著であると思います。この本で彼は、後に“funny turns”として一括される“vagal and vasovagal attacks”, “vertigo”, “migraine”, “parasomnias”など、てんかんと似た発作性病態を扱っています (Scott A, Eadie M, Lees A: William Richard Gowers 1845-1915: Exploring the Victorian Brain: A Biography. Oxford University Press, USA, 2012, p118)。『The Border-Land of Epilepsy』というタイトルは、次の世代の神経内科医を読者対象として考えていることが示唆され、とても魅力的であると感じます。てんかんと境界にある別の病態を扱うことでてんかん病態自体の理解が進み、次世代にそれらが整理されるということを期待していたような気がします。少し斜めからの病態認識の試み、といってもよいかもしれません。19 世紀後半にガワーズ自身、それにジャクソンらによっててんかんの臨床研究は飛躍的な進歩を遂げましたが、それでも“てんかん”と“funny turns”との臨床的鑑別はなかなか難しい場合があったのです。

ガワーズの本の表紙を眺めながら、ちょうどよく似た事態が現在の本邦における認知症診療に問題点として生じている、と感じました。それが、本号特集「The Border-Land of Dementia」を企画したきっかけです。脳血管性認知症とアルツハイマー病との鑑別診断は、認知症診療・研究におけるいま最も大きなトピックスです。PD-MCI は新しい概念ですが、今後必ず広く普及していくものであると思います。薬剤性認知症病態にはしばしば出会います。うつ病患者やてんかん患者も最初に物忘れ外来を訪れることがあることを忘れてはなりません。本特集の著者の先生方は皆、上記の企画意図をよく理解して執筆してくださいました。本号を読めばこの、少し斜めからのアプローチが認知症病態理解に役に立つことがわかると思います。

(河村 満)

BRAIN and NERVE (第 64 巻 第 12 号)

2012 年 12 月 1 日 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 2,835 円 [本体 2,700 円 + 税 5 % (配送料実費)]

2012 年 年間購読料 (税込み、配送料弊社負担)

冊子版 35,670 円、冊子 + 電子版 個人 40,670 円 / 共有 46,100 円、

電子版 個人 35,670 円 / 共有 41,100 円

販売部直通電話 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701 (小藤・風間・山崎)

FAX (03) 3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

印刷所 (株)アイワード (011) 241-9341

広告申込 (株)ハイブリッジエージェンシー (03) 3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2012. Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、その都度事前に (株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。